

# 道の駅建設陳情の審査始まる

3月29日と4月19日に総務経済常任委員会を開催し、第1回定例会で付託された「道の駅建設に関する陳情（陳情者仁木町商工会）」の審査を行いました。

陳情要旨は、「地域経済の活性化を目指し、北町の旧野球場跡地に本町の特徴を生かした魅力的な『道の駅』の建設を要望する」というものです。

3月29日の委員会では、陳情内容や今後の審査スケジュールの確認などを行いました。また、4月19日には、町側から、現在凍結中の「まちの駅整備事業」に係る道の駅建設事業費、現在の国や道の支援体制や活用が可能な起債や補助制度などの説明、更には道の駅を複数登録している市町村の状況などの調査を行いました。

【件名】  
道の駅建設に関する陳情

【提出者】  
仁木町商工会 会長 津司康雄

【陳情趣旨】（要約）  
仁木町の活性化と地元産業振興のため、地域とともに個性豊かな賑わいの場を創出し、休憩施設・情報発信・地域振興の輪を相乗的に生み出す「道の駅」の建設を求める。

【理由】（要約）  
商工会は、地域経済の活性化を目指し、地域の力や異業種同士の重要性や農業経営者との関り等も重要と考え、北町の旧野球場跡地に、本町の特徴を生かした魅力的な「道の駅」の建設を強く要望する。

## 期待される効果の概要

- ・ 地域特産品の販売増加
- ・ 地域交流環境の増進
- ・ 情報発信機能の充実と展開が可能
- ・ 通年営業の特化
- ・ 異業種連携の要の役割担当
- ・ 商工会機能の転換
- ・ 雇用対策の推進

また、町から提案されている「ふれあい遊トピア公園周辺の道の駅登録」との関わりも大きく複数の登録が可能かどうかの調査も並行して行いました。

北海道内では、一つの町村で複数の道の駅を登録している町村は5町村（合併町村を除く）あることを確認しました。今後は、陳情者からの意見を聞き、町の考え方などを確認のうえ、「願意の妥当性」「実現の可能性」などを判断し、委員会としての結論を出していくこととしています。

